

- 第2回会議で出された意見の整理
- 上郷地内の人口動向
- 上郷小学校の児童・学級数の推移
- 立地条件にみる廃校利用事例
- 具体的提案の精査

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料



第2回会議で出された意見の整理①

○上郷地区の現状について

- ・上郷地区に育った者が地元に着定するような構造になっているのか。
- ・上郷地区のミクロなレベルでの人口動態を押さえることが必要。
- ・つくば市も豊里地区も人口減少は激しくないが、将来的に維持できるかは不透明。

○利活用策や需要について(農業・文教・医療分野)

- ・市には市民農園(滞在型はなし)が3か所ある。利用率は高いところでも約5割である。
- ・農業高校という歴史を鑑み、バイオやIT等先端技術に特化した農業学校を誘致するとともに、栽培から販売まで手掛けたら良い。文教の聖地としての分野を誘致してほしい。
- ・学校経営は財政的に大きなお金がかかる。IT環境整備も同様であり財政負担が大きい。
- ・農業系で産業化を考えた場合、つくば市のマーケティングや比較優位性を考慮し、市内の関心がある先端産業と具体的連携を図らないと実現が難しい。
- ・建物は学校あるいは医療関係が、グラウンドは子供達を使うことも活性化になる。
- ・少子高齢化に対応した介護士や看護師の教育施設は寮も含めて可能性がある。
- ・少子化になれば、子供の将来への関心は高まり、特色ある教育に保護者はお金を出すと
思う。

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料



第2回会議で出された意見の整理②

○利活用策や需要について(工業分野)

- ・企業誘致の現状としては、圏央道の整備が進んだことによりインター付近や幹線道路、駅の近くでの引き合いはあるが、市中心地区から外れると引き合いは弱くなる傾向がある。
- ・ミニ工業団地を整備し、雇用創出による地域活性化も考えられる。

○利活用策や需要について(校舎・グラウンド)

- ・校舎は耐震補強されておりニーズの問題はあるが、活用は可能という判断ができる。
- ・グラウンドはスポーツ少年団などが使用しており、代替えあるいは一部を残すことも考えてもらいたい。
- ・市内に野球のグラウンドを求めている企業がある。部分的な売却で原資を得て、次の段階に進むことも考えられる。

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料



第2回会議で出された意見の整理③

○利活用策や需要について(その他)

- ・利活用策の第一段階として、都市計画法に基づく市街化区域に編入する方向で、検討会で位置付けたい。
- ・目的や計画がない中で、市街化区域にすることは都市計画の中では難しい。
- ・公営か民営かにもよるが、企業としてもお金がかかっては二の足を踏んでしまう。
- ・子供達や障害者、高齢者の地域ぐるみの活動拠点としても検討してほしい。
- ・民間活用による文化的な施設も含めた跡地利用も考えてほしい。
- ・防災の拠点として活用できるのではないか。

○利活用策や需要について(暫定利用)

- ・利用率の高い施設に整備するとしたら、交通アクセスや水の確保が必要となることから、暫定利用によるリードタイムをとっておき、段階的に利活用策を考え、利活用策が成熟し利用度が高まってきたら本格的に考えていくことも考えられる。

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

上郷地内の人口動向

上郷地内の人口集計(国勢調査より)



市の人口推計では、2035年までは人口増加傾向にあり、約25万2千人をピークとして緩やかに減少するが、上郷地内は既に人口減少が始まっている。

グラフから過去10年間を見ると、年少人口及び生産年齢人口が減少し、65歳以上の老年人口が増加しており、今後も人口減少及び少子高齢化の進行が想定される。

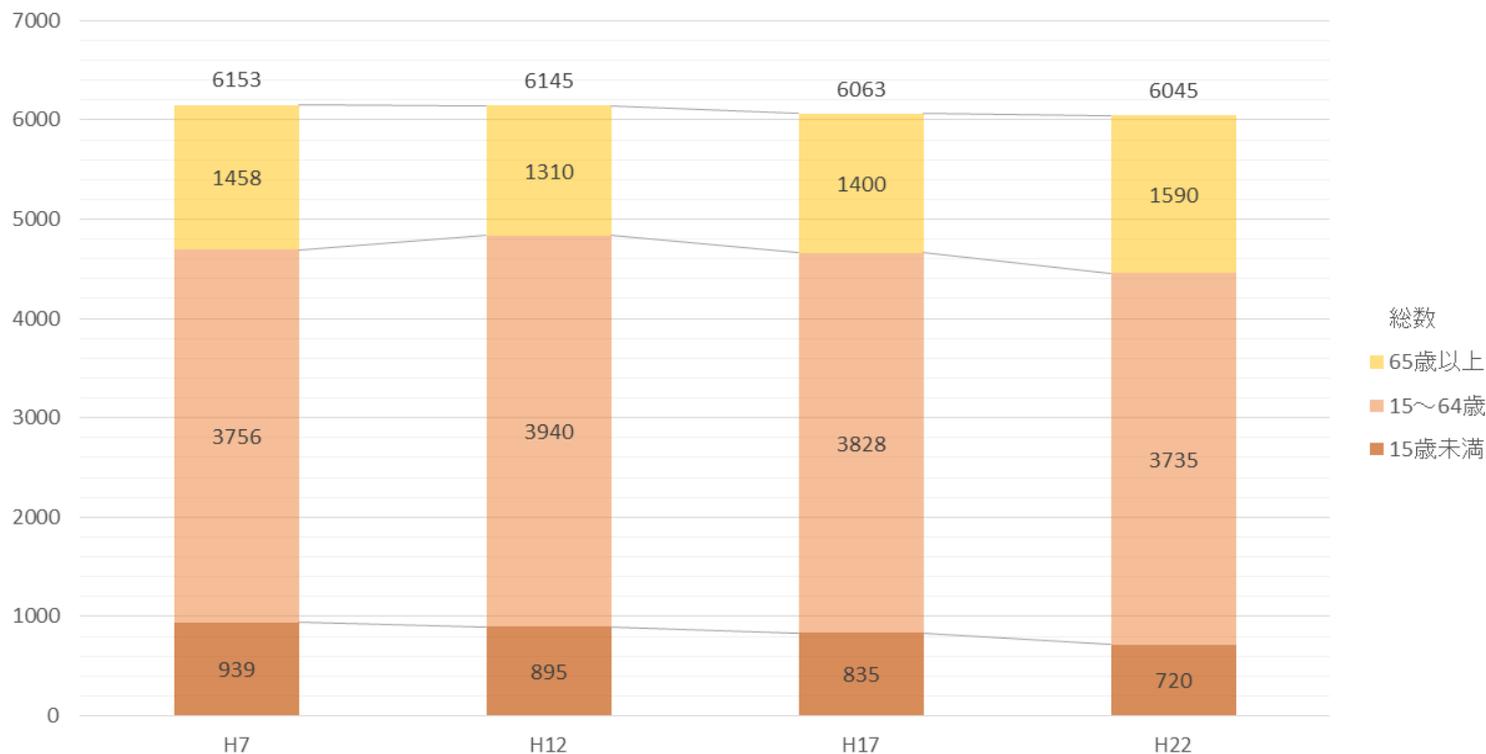
第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料



上郷小学校区内の人口動向

上郷小学校区内においては、人口減少が緩やかではあるが、老年人口の増加は著しい。
年少人口のみ、平成7年から減少傾向にある。

上郷小学校区内の人口集計(国勢調査より)



第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

上郷地内 年齢別人口動向割合

1 上郷地内年齢別人口動向(国勢調査より)



50代までは人口が減少しており、全体人口の総数に対する割合も減少傾向にある。60代以上は人口及び割合が増加しており、社会的な人口動向に近い動きを見せている。

年齢別人口割合を見ると、上郷全体の人口減少もある中で、若年層割合が大きく減っており、50代以上の割合が約4割を占めている。

2 上郷地内年齢別人口割合(国勢調査より算出)

年度	割合							
	0~9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
H7	9.8	12.1	13.0	12.6	15.0	12.7	11.7	13.1
H12	9.4	10.5	12.0	13.0	13.4	15.0	11.5	15.1
H17	8.5	10.6	10.4	13.2	13.3	15.0	12.3	16.9
H22	7.6	10.0	10.3	11.9	13.2	13.7	14.4	18.9

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料



上郷小学校の児童・学級数の推移

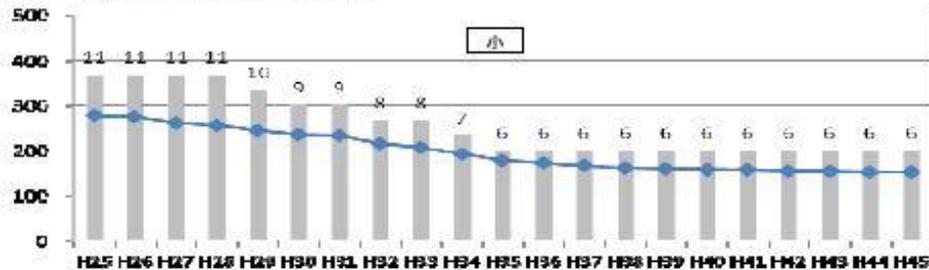
つくば市学校等適正配置計画(指針)
平成26年8月改訂版より抜粋

(5)上郷小学校【つくば学園】

①基本情報

学校名	上郷小	H24年度児童数	304	現有普通教室数	18
所在地	上郷 2499	H24年度学級数	12	教室の不足	
隣接学区	真瀬・烏名・沼崎・今鹿島・吉沼	将来の児童増		TX関連	
指定校変更制度	なし	将来の児童減	◎	公務員宿舍関連	
中学校区	豊里	大規模校			
		小規模校	○		

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25年度		30年度		35年度		40年度		45年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	35	(1)	32	(1)	27	(1)	26	(1)	25	(1)
2年	42	(2)	41	(2)	28	(1)	26	(1)	25	(1)
3年	50	(2)	42	(2)	29	(1)	26	(1)	25	(1)
4年	47	(2)	37	(1)	29	(1)	26	(1)	25	(1)
5年	52	(2)	48	(2)	33	(1)	27	(1)	26	(1)
6年	52	(2)	35	(1)	32	(1)	27	(1)	26	(1)
計	278	(11)	235	(9)	178	(6)	158	(6)	152	(6)

平成6年5月1日現在
14クラス 児童数415人
↓
平成27年5月1日現在
11クラス 児童数258人

年々、児童数が減少し、約20年後の平成45年には、半分程度まで減少する推計となっている。

つくば市学校等適正配置計画においては、平成36～45年に今鹿島小、吉沼小との統合を検討としている。

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

立地条件にみる廃校利用事例①

(未来につなごう みんなの廃校プロジェクト
作成:文部科学省 より)

交通アクセスに課題があるものの、自然環境が豊かな山中、農村に立地しており、大学、福祉施設として活用した例

山口県 山口市 旧引谷小学校

山口県立大学サテライトキャンパス (徳地地域づくり研究センター)

旧徳地町と山口県立大学が協定を結び、廃校となった小学校を、教育、研究及び地域活動の拠点としています。



廃校利用のメリット
県立大学のサテライトキャンパスとして活用することで、地域住民と若者との交流の場となっている。

- ・山口市の人口約197,000人
- ・山口市中心部から17km
- ・周辺に家屋なども少ない山間部



高知県 大月町 旧春遠小学校

グループホームのんびり館・老人ホーム高原の郷

明るく清潔感たっぷりの老人ホームとして改修しました。耐震強度を維持するために数本の柱が残りましたが、今ではそれも愛おしく感じます。



廃校利用のメリット

多額の公費を費やして造られた校舎であり、地域の方々に親しまれてきた校舎でもあるので、地域の灯を消さず、親しみを持ってもらえる。

●厚生労働省の補助を活用●

- ・大月町は人口約27,000人で町の7割が山林を占める。
- ・大月町役場から8kmの山中に位置
- ・小さな集落が点在する山間部

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

立地条件にみる廃校利用事例②

(未来につなごう みんなの廃校プロジェクト
作成:文部科学省 より)

交通アクセスに課題があるものの、自然環境が豊かな山中、農村に立地しており、地域利用のための施設として活用した例

奈良県 山添村 旧北野小学校 山添村立すみれ保育園

村立の保育園です。校舎の一部を利用し、児童用から園児用への改修・改装を行い移転しました。



●総務省の補助を活用●

新築に比べ移転費用が約1/3に抑えられる。

福祉
施設

熊本県 阿蘇市 旧小池野小学校 なみの高原やすらぎ交流館

地域住民による、特産野菜を活用した地産地消メニューの開発や、学校と連携した農林業体験型研修、環境教育事業を実施するなど、都市と農村の交流拠点として活用しています。



●農林水産省の補助を活用●

●農林水産省の補助を活用●

島根県 浜田市 旧宇野小学校 うのピアノクリニック

複数の診療科目があるクリニックです。宇野地区は市の中心地から約10km離れているため、近くで診療を受けられると高齢者を中心に喜ばれています。



施設
活用

市として多大な投資をせずに、無医地区解消への対応を図ることができる。

- ・阿蘇市は人口約27,000人
- ・JR肥後本線波野駅から約4km
- ・阿蘇市中心部から約12kmの距離があり、バスで約40分

- ・山添村は人口約3,800人
- ・山添村役場から約7km
- ・山間部で、周囲には広範囲に家が点在

- ・浜田市は人口約59,000人
- ・浜田駅から約10km
- ・山間部の旧集落内に位置
- ・市内にICあり

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

立地条件にみる廃校利用事例③

(未来につなごう みんなの廃校プロジェクト
作成:文部科学省 より)

交通アクセスに課題があるものの、自然環境が豊かな山中、農村に立地しており、工場等の施設として活用した例

秋田県 大館市 旧山田小学校

白神フーズ (株) 生ハム工場

山あいの気候風土が、工房として最適であるため、生ハムの製造工場に生まれ変わりました。手作りの生ハムを作る「原木オーナーの会」も定期的に開催しています。



廃校活用のメリット
廃校の利活用が、地域雇用の創出と交流人口の増加につながっている。

- ・大館市は人口約76,000人
- ・市域の8割が森林
- ・JR大館駅から10kmの山中の集落内

兵庫県 養父市 旧西谷小学校
日の出通商 (株)
食品カンパニー 但馬醸造所

昔ながらの製法で、酢を作っています。体育館は製造工場に、職員室は事務室に、理科室は研究室に生まれ変わりました。



天井が高く使い勝手が良い体育館と、将来的に拡張が見込める広い敷地が活用できる。

福島県 北塩原村 旧大塩小学校
裏磐梯パイロットファーム (株)
チョウザメ養殖施設

北塩原村で初めて締結した企業立地協定に基づき、廃校の体育館を活用したチョウザメの養殖施設です。



観光地・裏磐梯の観光施設での食肉やキャビアの活用により、雇用創出と地産地消、地域の活性化が期待できる。

- ・養父市は人口約25,000人
- ・市域の8割が森林
- ・養父市役所から約19km
- ・市内にはICあり

- ・北塩原村は人口約3,100人
- ・JR磐越西線喜多方駅からバスで約20分

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

立地条件にみる廃校利用事例④

(未来につなごう みんなの廃校プロジェクト
作成:文部科学省 より)

交通アクセスに課題があるものの、自然環境が豊かな山中、農村に立地しており、集客を目的とした施設として活用した例

創業 施設

北海道 新冠町 旧太陽小学校 太陽の森ディマシオ美術館

インターネットオークションにより施設を売却し、フランス幻想絵画の巨匠、ジェラール・ディマシオの代表作約二百点を展示する美術館に生まれ変わりました。

アクセス

比較的立地条件が良く、建物の構造がしっかりしている。



- ・新冠町は人口約5,700人
- ・新冠駅からバスまたは無料送迎車で約45分

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

立地条件にみる廃校利用事例⑤

(未来につなごう みんなの廃校プロジェクト
作成:文部科学省 より)

駅に近く、道路が整備されている等、立地環境が良い市街地及び住宅地に立地しており、文教施設として活用した例

京都府 京都市 旧龍池小学校 京都国際マンガミュージアム

マンガ資料を収集・保存し、博物館・図書館機能、研究機能、生涯学習機能、新産業創出・人材育成機能を有する我が国初のマンガ文化の総合拠点として活用しています。

STAY
SCHOOL

地域の活性化だけでなく、マンガ文化の発信拠点、新観光拠点として国内外から注目を集めている。



- ・京都市は人口約1,469,000人
- ・京都市営地下鉄御池駅から徒歩2分

福島県 会津若松市 旧河東第一小学校 仁愛看護福祉専門学校

会津地方では唯一の介護福祉士養成施設です。授業は午後からで、働きながら学ぶことができます。



STAY
SCHOOL

地域の活性化、雇用創出及び介護福祉科新設経費の削減につながる。

- ・会津若松市は人口約122,000人
- ・学校法人仁愛高等学校に隣接
- ・会津若松駅からバスで約10分
- ・JR磐越西線広田駅から徒歩7分

- ・横浜市は人口約3,719,000人
- ・横浜市瀬谷区のほぼ中心に位置
- ・鉄道は3路線が乗り入れ、バス停から約200m

神奈川県 横浜市 旧日向山小学校 県立横浜ひなたやま支援学校

知的障害のある高等部の生徒たちが学んでいます。地域活動の拠点機能も備え、生徒と住民との交流も盛んです。



STAY
SCHOOL

現在課題となっている特別支援学校の不足解消につながる。

教育

施設

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

立地条件にみる廃校利用事例⑥

(未来につなごう みんなの廃校プロジェクト
作成:文部科学省 より)

駅に近く、道路が整備されている等、立地環境が良い市街地及び住宅地に立地しており、交流施設として活用した例

長野県 信濃町 旧柏原小学校
柏原体育館

体育館を社会体育施設、地域振興施設として利用しています。主に地域のスポーツ団体活動、夏季のスポーツ合宿、町を挙げてのお祭り等で利用されています。



長野県観光PRキャラクター アルクマ

天候に左右されない地域交流の場として活用している。

- ・信濃町は人口約8,500人
- ・信濃町中心市街地に立地し、JR黒姫駅から徒歩5分

新潟県 村上市 旧南中学校
山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」

豊かな自然、生業体験、温泉、地元食材を生かした食など、ふるさとの魅力を満喫できる学び舎の面影残る体験交流宿泊施設です。



公共施設の有効活用とともに校舎の雰囲気を生かすことができ、開設経費を低く抑えることができる。

●国土交通省の補助を活用●

- ・村上市は人口約62,000人
- ・旧山北町 中心市街地に近い
- ・JR羽越本線勝木駅から徒歩2分

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

立地条件にみる廃校利用事例⑦

(未来につなごう みんなの廃校プロジェクト
作成:文部科学省 より)

市役所に隣接し、駅に近く道路が整備されている等、立地環境が良く市街地に立地しており、引き続き公立学校として活用された例

北海道三笠高等学校(三笠市立)

- ・道立高校の廃止に伴い、平成24年4月に市立高校として開設
- ・食物調理科に相可高校のモデルを導入したところ、平成24年度の出願倍率が2.2倍と、道公立高校でトップとなった
- ・シーフード料理コンクールで相可高校を押さえ、農林水産大臣賞を受賞するといった成果も出始めている



- ・三笠市は人口約9,300人
- ・JR岩見沢駅から北海道中央バス三笠線に乗り「三笠高校前」下車、徒歩0分 所要時間30分
- ・札幌から高速自動車道で約42km:約30分

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

具体的提案の精査①

提案	備 考
滞在型 観光農園	<ul style="list-style-type: none">・滞在型観光農園は需要が見込める。・上郷地区の特色として周辺との調和が図れ、地域の理解が得られやすい。・市民農園(日帰り型)は市内に公設で3カ所あるが、現在の利用率は5割以下の状況。新たに整備した場合に需要を見込めるのか。・既存建物の利用が見込めず、建物は撤去等が必要であり、費用負担が伴う。
ものづくり 団地	<ul style="list-style-type: none">・耐震化された建物を利活用し、中小企業向けの創業支援施設として提供することでできる。・筑波研究学園都市の研究機関との連携が期待できる。・新たな雇用創出に期待できる。
民間事業 所・工場	<ul style="list-style-type: none">・民間企業の進出による雇用の創出や地域活性化が期待できる。・既存建物の利用が見込めず、建物は撤去等が必要であり、改修する場合は費用負担が伴う。・進出企業の業種により、地域の理解や活性化が図れるかは不透明。

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料

具体的提案の精査①

提案	備 考
文教施設	<ul style="list-style-type: none">・上郷地区の特色として、周辺教育施設との連携など調和が図れ、地域の理解が得られやすい。・少子高齢化に対応した特色のある学校を誘致することにより社会ニーズに対応できるのではないか。・少子高齢化に対応した介護士や看護師を育成するための教育施設は需要が見込める。・特別支援学校を新設することの要望がある。・つくば市独自の人材や環境を活かした学校は期待できるのではないか。・既存建物の利用は見込めるが、改修工事に係る費用負担が大きい。・地域の防災拠点として期待できる。
運動施設	<ul style="list-style-type: none">・グラウンドを継続利用することが期待できる。・自然災害等に備えた防災の拠点として期待できる。・既存建物の利用が見込めず、建物の解体工事に係る費用負担も伴う。(一部、体育館は利用可能)・周辺教育施設との連携など上郷地区の特色として周辺との調和が図れ、地域の理解が得られやすい。
公共施設	<ul style="list-style-type: none">・ユニークで特色ある研修施設など、地域の活性化に寄与できる施設整備・周辺教育施設との連携など上郷地区の特色として周辺との調和が図れ、地域の理解が得られやすい。・地域の防災拠点として期待できる。・既存建物の利用が見込めるが、改修工事に係る費用負担が伴う。

第3回上郷高校跡地利活用方策検討会資料



具体的提案の精査②

注1)都市計画法に基づく開発許可が必要

提案	少子高齢化・人口減少対応	地域活性化	雇用創出	防災機能	上郷地区の特色等	地域理解	既存建物利用	土地分割利用 注1)	土地利用規制 注1)
滞在型観光農園	○	○			○	○			
ものづくり団地							○		
民間事業所・工場			○						
文教施設	○			○	○	○	○		
運動施設				○	○	○			
公共施設				○					